

奈良県観光戦略本部 平城宮跡周辺エリア部会（第5回） 議事概要

日 時：令和7年3月21日（金）13:00～15:00

場 所：奈良県庁本庁舎主棟 5階 第一応接室

出席者：部会委員長／内藤廣

部 会 委 員／磯部洋子、大木秀晃、杉山尚美、馬場基、平賀達也、藤本壮介、
湯山壮一郎 (WEB)

オブザーバー／柳澤秋介

1. 開会

2. 資料説明

3. 意見交換

(1) 平城宮跡のあり方について

- ・平城宮跡の価値を含め、それに対してどうアプローチしていくのかという組立になっており、スッキリして素晴らしくなった。平城宮はこういう場であると、それを捉えてその1つのコアのものとして食にしたというストーリーが極めて強固にできたと思う。
- ・コンセプトを「日本の食」としたところが大きい。奈良は日本食のルーツであり、県内、関西圏だけでなく、日本の皆さんが日本の食文化について語る機会、考える機会になると思う。
- ・奈良を訪れる海外の方が、観光だけでなく、日本の食を学んだり、感じたりできるような唯一無二の場所になるのではないかという期待感が大きい。
- ・奈良の食の捉え方が人それぞれだが、食文化で捉えると全てのことにつながる。県民のシビックプライドだけでなく、日本人の日本の食へのプライドにつながると有意義。
- ・日本食の発信として、熟成酒のような昔の食を再現しながら世界に戦っていけるようなものやってみるとか、何か目玉があるといい。
- ・食の部分、いわゆる若い人のノウハウを育てる意味で、教育に関する提案を入れることができればさらに良かった。
- ・チャレンジ・クリエイティブな活動を支援する部分が、根幹、ベースに位置に入ってきていることが良い。
- ・導入機能の模式図で、食をとりまく最新のテクノロジーを含め、チャレンジ・クリエイティブな活動の支援を土台であるという強力なメッセージが感じられるようになった。そのメッセージに共感し、若者が集まってくるようになればよい。
- ・チャレンジ・クリエイティブな活動というキーワードが、とりまとめの段階で出てきたところにすごく意味がある。
- ・チャレンジ、クリエイティブという言葉が入ってきたのが非常に良かったと思う。そのフォーカスの1つとして食があるというふうに理解。奈良のポテンシャルを今後開いていく可能性があるフレーズだと思う。
- ・事業全体がやっぱりクリエイティブであるべきだと思う。ハード以外の部分、ソフトと運営が始まってからのところでの活動ポイントなんじゃないかなと思う。
- ・チャレンジ・クリエイティブ、具体的にはスタートアップの支援とあるが、都市公園における施設整備という観点で、具体的にどう実現させるのか、慎重に検討が必要。

- ・防災や地域との連携といった観点について、今後検討を深めていく場合、奈良市の参画が必要。
- ・部会のとりのまとめを幅広くいろんな人に紹介し、いろんな意見を取り入れていく中で、関わってみようと思われる方も出てくると思う。広報や周知を頑張っていくと良い。
- ・部会終了後、とりまとめとして「平城宮跡のあり方」を発表することについて了解。

(2) 事業手法（案）について

- ・本案件は大きい事業であるので、事業手法として、二の矢、三の矢は一応考えながらやられた方が良い。
- ・都市公園における事業として、民間の参加意欲を踏まえながら、複数の事業手法の合わせ技を作り上げていくのが近道かと思う。県としてもチャレンジでクリエイティブな姿勢でないといけない。
- ・都市公園法のなかで動かないといけない。今都市公園の中で何か新しいチャレンジができないかということ考えた上で、諸官庁に相談すると協力も得られやすいと思う。
- ・なるべく早い段階から進もうとしている方法について諸官庁へ幅広く相談していくほうが良い。国として制度で規制している立場からすると、こういった具体的な事例を求めているところもある。

(3) 今後の進め方について

- ・それぞれのワーキンググループでは、チャレンジでクリエイティブであることを命題に据えて、共通した考えとして議論するべき。
- ・工事に着手するまでの数年間、あの場所を使った奈良の食文化の発信や学びの場など、特に来年からの1、2年間、企画や機運醸成をどうするかが重要。ワーキンググループで議論したい。
- ・建築やランドスケープ、食の枠組みに収まらないような、チャレンジ・クリエイティブな活動について議論できるグループはあっても良い。
- ・実際に活動してくれるような、若手クリエイターなどが発言しやすい場があるといい。
- ・発掘調査は、なるべく早い時期に実施することが望ましい。過年度調査結果を踏まえ、適切な方法や手法を検討できると良い。
- ・民間事業のスケジュールは公共事業に比べて早く、その歩調を合わせる必要がある。食をコンセプトに据えていることもあるので、スケジュールを短くできるほうが民間事業者の関心を高めることができる。
- ・エリアマネジメントの考え方が参考になるかもしれない。どこにどうお金を落とすかを考える必要もある。

4. 閉会

以上